

# 白川は教室 白川は学習材!! **「白川にホタルを呼ぼう」** こどもたちの願いかなって「ゆめ・ほたる」川完成

熊本市立龍田小学校

平成13年12月12日、熊本市立龍田小学校の児童が中心になって、「ホタルの小川」の完成式が行われました。この小川は、同校の下を流れる白川右岸に出来上りました。

平成11年の体験学習(指導・小林修先生(環境カウンセラー・白川流域住民交流センター代表世話人))を受けた当時の6年生20名が中心となり、設計・企画書を作成、熊本県土木事務所の協力を得て、この日を迎えることができました。

水辺学習は、今や龍田小学校の4年生に受け継がれ、今後とも、今年4月にスタートします「総合的な学習の時間」におけるテーマとしての素材に大いに活用されることになります。



## 实施前

## 完成した小川・

適所に白川の石を配し、上流から白川の水を引き入れ、自然な流れを本流に沿って造ってあります。右岸側の堤防の自然林が生かされ、平成12年12月にはすでに小さな魚たちの住処・隠れ家になり、地形に沿った流れを作っていました。

環境学習、理科や生活科など工夫次第でいい学習の場になります。

## 完成までの経緯

平成11年	6年生が環境をテーマに 「ホタルの一生」の学習。 その後「白川にホタルを！」を 目標に勉強会を実施。
平成13年8月	熊本県・龍田小の先生・小林先 生との相談会
平成13年10月	小川づくり
平成13年10月	4年生環境学習
平成13年12月	完成式

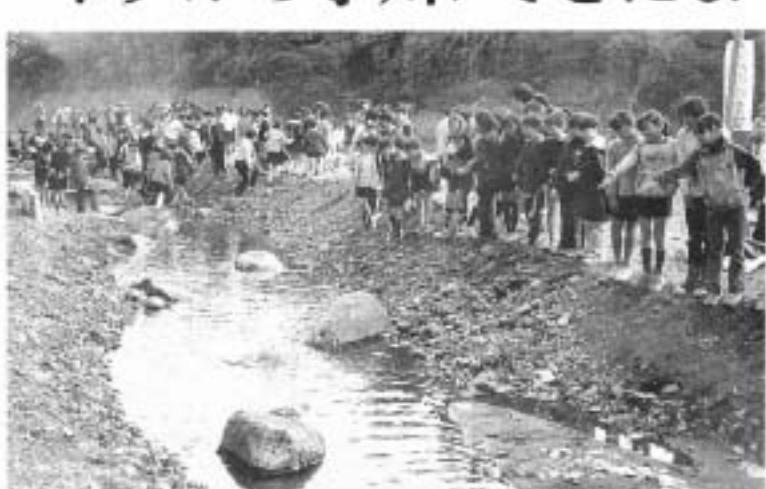


**龍田小児童の願いかなう**

「白川にホタルを呼びました。」と熊本市立龍田小の児童らが願いを込めた手紙が、小川が完成した日、同小学校二年生の水原一三君から届いた。小川は全長百二十㍍、川幅二㍍、水深一・三㍍。環境カラーリングで小林修さんらが設計・監理し、工場で完成があり、「ゆたかだ。」と名付けられた。昨年、小林さんをして小川の設計図を轍

拓いて、同校であった体験学習がきっかけで、白川でホタルは飛ばないのだろうかと思つた時、近くの田中茂吉郎の現状で完成がめ、また、川と名付けた。

時六年生二十人が中心となり、水質や生息調査をして小川の設計図を轍



「協約」はたる川内宮或其一嗣日本國由川中之

り込んだ企画書を作成、県の河川課や土木事務所に提出した。今年三月に認可を受け、「十一月に完成する」とある。

日本日々新聞 平成13年12月13日掲載

CMYK

## 白川渡鹿地区の川づくり 子飼橋付近

### 白川を教室

### 白川を学習材に

渡鹿地区の川づくりは、「子供たちが遊べる水辺」「親しみやすい川」を目指し、また魚や水生生物の休憩場所としての機能を併せ持った水辺づくりです。地域の方々の「渡鹿地域川づくり勉強会」を発端に、学習会が重ねられ、地域の皆さんの意見を取り入れながら出来上がったことに大きな意義があると思います。今後地域や学校での利用に期待がもてます。



単元「流れる水のはたらき」(5年理科)の学習に最適。わくわくランドに設置の模型による実験と実際の川の様子と一緒に観察できます。左岸の河原では石遊び、水質調査など、学習目的で多様に利用できます。

小碁橋下流、左岸に出来ている水辺は3月完成予定です。ワンドや水制のほか多目的広場や散策路をもつた施設です。新学期から早速利用ください。

ワンドとは

- 川沿いにある入り江のこと。川の生き物の住処や隠れ家になる處。浅いのでワンド内の生物調査や水遊びができます。



(イメージ図)

## 第2期 白川わくわく塾(白川と人々の営み・想い)

### 第1回

たつみや章 児童文学作家

題 白川草紙  
—白川の伝承・昔話—

たくさんの神話や民話を紹介していただきながらその読み方に一つの示唆をいただきました。これらを読む時に、その物語の背景や歴史的な事実を考えながら読むということです。

そのような視点から建盤龍命の話、阿蘇の君・火の君の話、淵にまつわる話、内牧の仙女橋の話、一の宮町のなばのなき堀の話等々ありました。

単なる昔話と思っていたものに息を吹き込まれたおもいででした。

### 第2回

新宅 咲雄 子飼商店街振興組合

専務理事

題 子飼商店街と  
周辺の文化・歴史

人情豊かな粹な子飼商店街、そしてその周辺の歴史や文化について興味深い話がありました。「子飼」の名前の由来から始まって、現在の商店街の事業や在り方に至るまでこの地を踏んだ古・先人の人々の息遣いを感じるおもいでした。

現在商店街は、教育・文化事業への移行により、次の世代に引き継ぐ街づくりを目指し、学校からの体験学習などにも積極的に協力しております。

国土交通省 ホームページ

## 「川で遊ぼう」開設

<http://www.kawamanabi.river.go.jp>

川は身近で貴重な自然体験の場。川のものつ教育力を、学校教育に大いに利用してください。

このホームページは、「川の学習」の考え方、カリキュラム、事例集、川の学習素材サーチなどのメニューから成り、水質検査や野鳥観察などすぐ使えるワークシートも満載です。是非一度開いてみて下さい。

## 白川流域住民交流センター利活用懇談会メンバー紹介

大園 光 先生  
(熊本シティエフエム)



川遊びが大好きで、子供の頃は近くの小さな川で釣りをしたり、泳いだり、時には河童に足を引っ張られたりしていました。わくわくランドの広報の手伝いをしています。

鶴山 敏哉 先生  
(熊本日日新聞社)



毎年夏休みに、白川や緑川などで川の自然や文化を学ぶ「熊日親子流域探検隊」を行っています。川に入ってみることで日常とは違う世界を体感できるはずです。

川野 由紀子先生  
(女性の会白川世話人)



くまもと川の女性フォーラムは、川について勉強会や流域探訪を各流域で行い、年に一度フォーラムを開催して、日々の活動の情報交換を行っています。参加してみませんか。